レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール（Trastuzumab+Pertuzumab＋q3DOC）

下記の治療を3週毎に繰り返します

時間	お薬			お薬の作用
30分	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	3 6.6	mg/袋 mg	吐き気予防 アレルギー予防
60分	ドセタキセル 5%ブドウ糖液	【75mg/m²】 250	mg mL	抗腫瘍薬
※1 60分	パージェタ 生理食塩液	【840mg/body】 250	mg mL	抗腫瘍薬
※2 90分	トラスツズマブ 生理食塩液	【8mg/kg】 250	mg mL	抗腫瘍薬

※1 ： 2回目以降は【420mg/body】に減量し、30分に短縮します。
※2 ： 2回目以降は【6mg/kg】に減量し、30分に短縮します。

☆飲み薬

お薬の名前	用法/用量	お薬の作用
ロキソプロフェンNa錠	パージェタ投与時に1回1錠	解熱鎮痛

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。
※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。
※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

☆副作用

〇自覚症状として現れやすいもの

・アレルギー反応 （ドセタキセル点滴中～）
さむけ、頭痛、かゆみ、咳、息苦しさ、喉のイガイガなどの症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

・注射時反応（パージェタ、トラスツズマブ点滴中～）
点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。
また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。
特に初回に多いと言われています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
予防のために、初回のみパージェタ投与時にロキソプロフェンナトリウム錠を服用します。

・眠気、ふらつき （点滴中～）
ドセタキセルに含まれるアルコール成分の影響により症状が現れる場合があります。
点滴当日は、運転や危険を伴う行動は避けてください。

・吐き気 （当日～）

・味覚異常、臭覚過敏 （当日～）

・便秘 （当日～）

・筋肉や関節の痛み

・手足のしびれ （回数を重ねるとおこりやすい）

・むくみ
足のむくみや急な体重増加があらわれた場合はお知らせください。

・口内炎 （1～2週間ごろ）
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。

・下痢
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。

・皮膚や爪の荒れ、色素沈着
保湿や爪のケアを心がけてください。

・脱毛 （2週間ごろ～）
投与終了後は再び生えてきます。
頭皮を清潔に保ちましょう。

・間質性肺炎
咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状が現れることがあります。

〇自覚症状として現れにくいもの（定期的に検査します）

・心機能障害
適宜、心機能検査を行います。
動悸、息苦しさ、咳、むくみなどが現れた場合はすぐに連絡してください。

・骨髄抑制 （1～2週間ごろ）
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。

大阪赤十字病院　薬剤部